

オオイタサンシヨウウオ

Hynobius dunni

サンシヨウウオ目 サンシヨウウオ科

カテゴリー

大分県 II

環境庁 II



標高10mから800mの池沼や水田などの止水域に生息する。成体の体長は10～18cm、体色は黄褐色から暗褐色。12月中旬から4月にかけて、水たまりに産卵し、幼生は水生動物を食べたり、共食いをしたりして、8～9月に、変態して陸上で生活する。小型サンシヨウウオ類の中では分布域が狭く、本県がおもな生息地となっており、本種の標準産地は、佐伯市城山の雄池・雌池とその周辺である。都市部やその周辺では、土地開発や休耕田の増加などにより、消滅する生息地が多くなっている。

(写真：佐藤眞一 文：堀江道廣)

県内分布 宇佐市、宇佐郡、豊後高田市、西国東郡、東国東郡、杵築市、速見郡、別府市、大分市、大分郡、北海郡郡、臼杵市、津久見市、佐伯市、南海部郡、竹田市、大野郡、直入郡

分布域 四国（土佐清水市）、九州（熊本・大分・宮崎）